



ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間について（小）



みなさんこんにちは。1月24日から30日は、「全国学校給食週間」です。学校給食がいつから始まったのか知っていますか。

明治22年に山形県の小学校で、お弁当を持ってくることができない子どもたちのために、「おにぎり・塩鮭・つけもの」を出したのが学校給食の始まりです。しかし、戦争が始まり、食べ物がなくなったので、給食を続けることができませんでした。戦争が終わると、ユニセフから日本の子どもたちのために、小麦粉や脱脂粉乳が送られました。そして、昭和21年12月24日から給食をまたはじめることができ、栄養不足だったたくさんの子どもたちを救うことができました。

この日を「学校給食感謝の日」としましたが、学校は冬休みなので、1か月後の1月24日から30日の1週間を「全国学校給食週間」としました。

この1週間は、みなさんから募集したわが家のじまん料理や愛知県の郷土料理の「煮みそ」を給食に出しています。また、愛知県でとれたキャベツやうずらたまごを使った料理や、みかんゼリーも登場します。27日は、名古屋コーチンを使ったひきずりが出ます。

給食に関わる人々の思いを考え、食べることの大切さを感じながら、感謝の気持ちをもって、残さずいただきますよう。